

## B-44 毛髪に関する研究 (オ4報)

ライオン家研      ○大塚登美子      久保田隆之      田中良平      藤井徹也

### 1. 目的

一般女性の毛髪の状態について、損傷を中心に実態調査を行なう。

### 2. 方法

自然脱落毛を被験者1名につき無作為に3本選り、スンプ法にて毛根から毛先までの表面状態の顕微鏡観察を行ない、その損傷状態を調べ、併せて各被験者のパーマ、洗髪等の行動調査を行なった。

### 3. 結果

被験者の毛髪表面は、損傷程度に差はあるが殆んど全ての人に損傷が認められた。

その損傷状態は、

(1) 枝毛 28% , (2) 毛根異常 30% , (3) 結節性裂毛性 10% , (4) 小皮摩耗 100% , (5) 薬剤による小皮異常 23% ,

であった。

又、損傷状態は年齢、その他パーマ、ヘアダイ等の処理と明確な関係は認められなかったが、この点については被験者の数が少なかつたためと思われるので、継続検討中である。